

宇宙栄養研究センター 特別講義

日時： 2023年2月17日(金) 16:00～18:10

場所： 藤井節郎記念医科学センター2階 多目的室

■講義1 16:00～17:00

宇宙航空研究開発機構 有人宇宙技術部門 きぼう利用センター 技術領域主幹
徳島大学 宇宙栄養研究センター 客員教授

東端 晃 先生

「国際宇宙ステーション日本実験棟「きぼう」での生命科学研究と今後の展開」

国際宇宙ステーション(ISS)の本格的な運用が始まってから10年以上が経過し、2030年までの運用延長が決定した。これまでISSでは、他分野に渡る数多くの科学実験が行われており、その成果も蓄積されつつある。本講演では、国際宇宙ステーション日本実験棟「きぼう」で行われてきた生命科学研究での成果について、地球とは異なる微小重力環境下での生命現象にどのような影響が見られているかを中心に紹介する。また、2030年以降のポストにおける民間宇宙ステーション利用や、月周回居住区ゲートウェイでの生命科学研究の姿について、これまでの成果をもとに考えたい。

■講義2 17:10～18:10

宇宙航空研究開発機構 有人宇宙技術部門 宇宙飛行士運用技術ユニット
宇宙医学生物学研究グループ 主任研究開発員
徳島大学 宇宙栄養研究センター 客員教授

相羽 達弥 先生

「宇宙旅行者に対する宇宙医学研究」

ここ数年で民間人が旅行者として宇宙に滞在する人数は30人を超える規模となっている。スペースX社のInspiration 4、日本人宇宙旅行者によるMzミッション等は、単なる旅行にとどまらず、ヒトを対象とする医学実験(宇宙医学研究)を実施している。医学実験は、宇宙旅行者の宇宙環境適応を知る貴重な機会であるが、実現するための準備プロセスの整備が重要となる。これまでに行われた宇宙旅行者を対象とした宇宙医学研究テーマ、さらにその実施に至る倫理審査や技術的な支援などの実験実施プロセスについて紹介する。

本講演は、大学院医学研究科、医科栄養学研究科、口腔科学研究科の大学院特別講義を兼ねています。多くの先生方、大学院生、学部学生、興味をお持ちの方すべての方々のご来聴を歓迎致します。

連絡先: 生体栄養学分野 二川 健(内線:9248)

新型コロナウイルス感染予防のため、ご来場の際にはマスク着用、事前の手洗いなどをお願い致します。